IPMEN ・ NGB共催セミナー　第2弾

「変貌する中国の知財制度と日本企業の知財戦略」

IP Management Experts Network（以降 IPMEN）と NGB の共催セミナー第 2 弾を開催します。今回は IPMEN より上柳 雅誉氏、黒瀬 雅志氏、藤野 仁三氏の 3 名をお招きして、「変貌する中国の知財制度と日本企業の知財戦略」を IPMEN の方々に講演して頂きます。

また、第 3 部のパネルディスカッションでは IPMEN の講師陣と NGB の顧問である張 華威（中国弁護士・中国弁理士・日本国弁理士）が討論する予定です。

既にご存知の方も多いと思いますが、IPMEN（知財マネジメント専門家ネットワーク）は、知的財産に関し国際的に豊富な知識と経験を備えた知的財産専門家が中心となって 2015 年 1 月に設立された専門家のネットワークです。法律事務所での実務経験、民間企業の役員兼知的財産部門長としての経験、また、現在も大学・大学院において知的財産権に関する研究・指導に関わっておられるなど、何れも豊富な経験を有する方々です。

以下、セミナー概要および講演要旨（講演順）です。

IPMEN ・ NGB 共催セミナー　第 2 弾

「変貌する中国の知財制度と日本企業の知財戦略」

【日時】2019 年 7 月 26 日（金曜日）　午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分　（13 時 45 分開場）

【会場】港区西新橋 1-7-13　虎ノ門イーストビルディング　日本技術貿易株式会社　4 階　A 会議室

【定員】 60 名　（参加費無料）

【講師】 IPMEN より上柳 雅誉氏、黒瀬 雅志氏、藤野 仁三氏

【講演要旨】

第 4 次産業革命の時代を迎えた今、世界の科学技術強国を目指す中国においては、政府の明確な科学技術政策の下、IT を中心としたイノベーションが猛烈なスピードで進行しています。中国は、イノベーションを促進するインフラとして知財制度を重視しており、その整備・強化が継続的に実施されています。本講演では、最近の中国知財制度の改革と運用状況を俯瞰し、日本企業は今後どのような知財戦略で臨むべきかを考えます。

① 基調講演　第 1 部：14:00 ～ 14:50

演題：「最近の中国の知財制度の現状を確認し、日本企業の今後の知財戦略を考える」

講師：黒瀬雅志氏、弁理士、一橋大学大学院ビジネスロー専攻・非常勤講師

要旨：中国の知財制度は、その規模において既に世界大国になっていますが、まだ多くの課題を抱えており、絶えず改革がなされています。最近の中国知財制度の改革の内容を整理し、日本企業の知財戦略において留意すべき点を検討します。

② 基調講演 第２部：14:50 ～ 15:35
演題：「激変する世界知財環境の中で我が国企業のとるべき知財戦略」
講師：上柳雅誉氏、弁理士、元セイコーエプソン知的財産本部長
要旨：世界の先進企業の知財戦略は大きく進化しており、ことに中国先進企業の知財戦略は欧米企業に脅威を与えるところまで来ています。また、国家戦略を色濃く反映する知財制度は、制度間競争の様相を呈しています。このような中、我が国企業が取り残されることなく、世界の先進企業と伍していくために何が必要か、我が国企業のとるべき知財戦略を考えます。

- 休憩: 15:35 ～ 15:50

③ パネルディスカッション：15:50 ～ 16:55
モデレータ：藤野 仁三氏（IPMEN）、元東京理科大専門職大学院教授
パネラー：黒瀬 雅志氏（IPMEN）、上柳 雅誉氏（IPMEN）、張 華威（NGB）
要旨：基調報告の論点を講演者との議論により、掘り下げます。また、話題となった「ソニーモバイル対西安捷電事件」判決を題材にして、この判決の意義と日本企業の対中知財戦略への影響を考えます。

- 閉会挨拶：16:55 ～ 17:00

セミナー参加のお申し込みは https://www.ngb.co.jp/seminar/IPMEN_NGB.html にて承っております。

会場：日本技術貿易株式会社 ４階 A 会議室

■住所
〒105-8408
東京都港区西新橋1-7-13
日本技術貿易株式会社 IP総研
電話 03-6203-9387

■交通
・東京メトロ銀座線虎ノ門駅(1番出口)徒歩2分
・東京メトロ丸ノ内線霞ヶ関駅(B2番出口)徒歩7分
・東京メトロ千代田線・日比谷線霞ヶ関駅(C3番出口)徒歩5分
・都営三田線内幸町駅(A3番出口)徒歩4分

お問い合わせ 日本技術貿易株式会社 IP総研 【担当】折田、長谷川
TEL: 03-6203-9287 e-mail: ip-seminar@ngb.co.jp